

2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月19日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 manaby

コード番号 9222

URL <https://manaby.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 岡崎 衛

問合せ先責任者（役職名） 執行役員（氏名） 清水 一生

TEL 03(6262)7988

定時株主総会開催日 2023年6月28日

配当支払開始予定日

—

発行情報提出予定日 2023年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

決算説明会開催の有無 : 有・無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期の業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

（1）経営成績

（%表示は対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-----|------|------|---|------|---|-------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期 | 658 | 18.1 | △78 | — | △78 | — | △52 | — |
| 2022年3月期 | 557 | 5.4 | △8 | — | △10 | — | △9 | — |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2023年3月期 | △33.71 | — | △57.4 | △10.2 | △11.8 |
| 2022年3月期 | △5.82 | — | △7.4 | △1.8 | △1.5 |

（参考）持分法投資損益 2023年3月期 一百万円 2022年3月期 一百万円

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、2022年3月期は潜在株式が存在するものの当社株式が非上場であり期中平均株価が把握できないため、また2022年度3月期及び2023年3月期は当期純損失を計上しているため、記載しておりません。

（2）財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-----|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期 | 721 | 65 | 9.1 | 41.88 |
| 2022年3月期 | 828 | 118 | 14.3 | 75.60 |

（参考）自己資本 2023年3月期 65百万円 2022年3月期 118百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2023年3月期 | △93 | △69 | △66 | 423 |
| 2022年3月期 | △5 | △16 | 525 | 652 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | 配当金総額 （合計） | 配当性向 | 純資産 配当率 |
|--------------|-------|------|------|---------------|------|------------|
| | 中間期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2022年3月期 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2023年3月期 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2024年3月期(予想) | 0.00 | 0.00 | 0.00 | — | — | — |

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-----|------|------|---|------|---|-------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 948 | 43.9 | 42 | — | 40 | — | 23 | — | 15.19 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
④ 修正再表示 : 有・無

(2) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年3月期 | 1,571,000株 | 2022年3月期 | 1,571,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期 | －株 | 2022年3月期 | －株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2023年3月期 | 1,571,000株 | 2022年3月期 | 1,571,000株 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況..... | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況..... | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況..... | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況..... | 3 |
| (4) 今後の見通し..... | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方..... | 3 |
| 3. 財務諸表及び主な注記..... | 4 |
| (1) 貸借対照表..... | 4 |
| (2) 損益計算書..... | 6 |
| (3) 株主資本等変動計算書..... | 7 |
| (4) キャッシュ・フロー計算書..... | 8 |
| (5) 財務諸表に関する注記事項..... | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記)..... | 9 |
| (会計方針の変更)..... | 9 |
| (持分法損益等)..... | 9 |
| (セグメント情報)..... | 9 |
| (1株当たり情報)..... | 9 |
| (重要な後発事象)..... | 10 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(2022年4月1日～2023年3月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症への対策へ万全を期し、経済社会活動の正常化が進み、下半期にはウィズコロナのもと、政府による各種政策の効果もあり、景気回復が期待される状況下にあります。ただし、世界的な金融引き締め等が続く中、海外景気の下振れが日本経済を下押しするリスクとして認識されております。また、資源、原材料およびエネルギー価格の高騰、供給面での制約の影響には十分な注意が必要な状況となっております。

一方で、当社の属する障害福祉サービス業界では、民間企業に雇用されている障害者数が2022年6月時点で61.3万人(対前年差1万6,712.0人増加、対前年比2.7%増加)、実雇用率は2.25%(対前年比0.05ポイント増加)と、いずれも19年連続で過去最高となっております。企業規模別にみても、雇用されている障害者の数は、43.5人～100人未満規模企業で66,001.0人(前年は64,255.0人)、100～300人未満で117,790.0人(同114,905.0人)、300～500人未満で52,239.5人(同51,657.5人)、500～1,000人未満で69,375.5人(同67,920.5人)、1,000人以上で308,552.0人(同299,048.0人)と全ての企業規模で前年より増加しております(厚生労働省「令和4年障害者雇用状況の集計結果」)。さらに、厚生労働省は2023年1月18日、労働政策審議会障害者雇用分科会を開催し、障害者雇用促進法に基づき設定することとされている障害者雇用率(2021年3月以降現在まで民間企業では2.3%)を2024年度から2.5%、2026年度7月から2.7%と段階的に引き上げる方針が発表されており、引き続き、障害者雇用に対する高いニーズが見込まれております。

このような環境のもと、当社は就労支援事業を中心に、既存事業所での支援サービス品質の向上及び利用促進等の活動を行うとともに、奥洲物産運輸株式会社の就労移行支援事業である「manaby相模原駅前事業所」「manaby千葉中央事業所」「manaby行徳駅前事業所」を2023年1月に譲り受け、直営事業所にすることにより、当社の就労支援事業における関東エリアでのサービス提供範囲の拡大及び本件事業に所属する就労移行支援のノウハウを有する人材の承継を行いました。また、既存事業所での利用促進等の活動を進めるとともに、事業拡大を見据えた人材育成・能力開発のための研修を実施し組織基盤の強化も推進してまいりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は658,945千円(前年同期比18.1%増)、営業損失78,041千円(前年同期は8,375千円の営業損失)、経常損失78,957千円(前年同期は10,098千円の経常損失)、当期純損失52,966千円(前年同期は9,144千円の当期純損失)となりました。

なお、当社は、就労支援事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は568,610千円となり200,138千円減少しました。売掛金が42,296千円増加し、現金及び預金が228,818千円、未収還付法人税等が13,752千円減少したことが主な要因であります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は152,796千円となり92,706千円増加しました。繰延税金資産が45,127千円、のれんが33,999千円、長期前払費用が4,761千円、リース資産が3,444千円、ソフトウェアが3,170千円、ソフトウェア仮勘定が2,555千円増加したことが主な要因であります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は164,607千円となり85,210千円減少しました。未払費用が9,704千円、1年内返済予定の長期借入金が8,508千円増加し、短期借入金が100,000千円、買掛金が3,891千円、契約負債が3,417千円減少したことが主な要因であります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は490,993千円となり30,744千円増加しました。長期借入金が25,440千円、リース債務が3,189千円増加したことが主な要因であります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は65,806千円となり52,966千円減少しました。当期純損失52,966千円を計上したことによる利益剰余金の減少が要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は423,256千円（前年同期比228,818千円減少）となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費2,785千円、のれん償却費3,892千円、法人税等の還付額13,752千円等を計上したものの、売掛金の増加額42,296千円、買掛金の減少額3,891千円、契約負債の減少額3,417千円、税引前当期純損失75,598千円等を計上したことにより、93,153千円の支出（前年同期は5,177千円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、敷金及び保証金の回収による収入2,886千円を計上したものの、有形固定資産の取得による支出2,317千円、無形固定資産の取得による支出64,330千円、敷金及び保証金の差入による支出5,793千円等を計上したことにより、69,224千円の支出（前年同期は16,182千円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入87,000千円を計上したものの、短期借入金の返済による支出100,000千円、長期借入金の返済による支出53,052千円を計上したことにより、66,439千円の支出（前年同期は525,256千円の収入）となりました。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、法定雇用率の引き上げに伴う障害者雇用に対する高い関心が継続する追い風の中、譲受事業所を含めた既存事業所における人員体制整備及び従業員の採用・育成・評価等の人事施策を強化していくことにより、1事業所あたりの収益の最大化を目指します。また、既存事業だけでなく周辺領域において、新たなサービス開発にも取り組むことで中長期的な成長基盤を構築してまいります。上記のことから、2024年3月期の通期業績見通しにつきましては、売上高948,213千円、営業利益42,014千円、経常利益40,284千円、当期純利益23,869千円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2022年3月31日) | 当事業年度 (2023年3月31日) |
|----------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 652,074 | 423,256 |
| 売掛金 | 88,673 | 130,969 |
| 前払費用 | 10,528 | 12,404 |
| 未収還付法人税等 | 15,041 | 1,288 |
| その他 | 2,431 | 691 |
| 流動資産合計 | 768,748 | 568,610 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物附属設備 (純額) | 4,563 | 4,848 |
| 構築物 (純額) | 12 | 0 |
| 車両運搬具 (純額) | 0 | — |
| 工具、器具及び備品 (純額) | 2,416 | 1,384 |
| リース資産 | — | 3,444 |
| 有形固定資産合計 | 6,992 | 9,677 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 1,471 | 4,641 |
| ソフトウェア仮勘定 | 3,413 | 5,968 |
| のれん | 4,086 | 38,085 |
| 無形固定資産合計 | 8,970 | 48,696 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金 | 31,480 | 31,899 |
| 繰延税金資産 | 12,634 | 57,762 |
| その他 | 12 | 4,761 |
| 投資その他の資産合計 | 44,127 | 94,423 |
| 固定資産合計 | 60,090 | 152,796 |
| 資産合計 | 828,839 | 721,407 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2022年3月31日) | 当事業年度 (2023年3月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 9,312 | 5,421 |
| 短期借入金 | 100,000 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 53,052 | 61,560 |
| リース債務 | — | 661 |
| 未払金 | 5,490 | 7,497 |
| 未払費用 | 35,944 | 45,648 |
| 未払法人税等 | 1,078 | 2,496 |
| 契約負債 | 19,997 | 16,580 |
| 賞与引当金 | 20,290 | 20,017 |
| その他 | 4,652 | 4,723 |
| 流動負債合計 | 249,817 | 164,607 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 460,072 | 485,512 |
| リース債務 | — | 3,189 |
| その他 | 176 | 2,291 |
| 固定負債合計 | 460,248 | 490,993 |
| 負債合計 | 710,066 | 655,600 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 66,440 | 66,440 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 50,300 | 50,300 |
| 資本剰余金合計 | 50,300 | 50,300 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 2,032 | △50,933 |
| 利益剰余金合計 | 2,032 | △50,933 |
| 株主資本合計 | 118,773 | 65,806 |
| 純資産合計 | 118,773 | 65,806 |
| 負債純資産合計 | 828,839 | 721,407 |

(2) 損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 557,931 | 658,945 |
| 売上原価 | 406,704 | 533,614 |
| 売上総利益 | 151,227 | 125,331 |
| 販売費及び一般管理費 | 159,603 | 203,372 |
| 営業損失(△) | △8,375 | △78,041 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び受取配当金 | 2 | 4 |
| 助成金収入 | 68 | 656 |
| 保険解約返戻金 | — | 127 |
| 雑収入 | 70 | 194 |
| 営業外収益合計 | 141 | 983 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,706 | 1,866 |
| 雑損失 | 157 | 32 |
| 営業外費用合計 | 1,864 | 1,899 |
| 経常損失(△) | △10,098 | △78,957 |
| 特別利益 | | |
| 補助金収入 | 228 | 4,656 |
| 固定資産売却益 | — | 79 |
| 特別利益合計 | 228 | 4,735 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 356 | 1,376 |
| 特別損失合計 | 356 | 1,376 |
| 税引前当期純損失(△) | △10,226 | △75,598 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,101 | 2,496 |
| 法人税等還付税額 | △3,320 | — |
| 法人税等調整額 | 136 | △25,127 |
| 法人税等合計 | △1,082 | △22,631 |
| 当期純損失(△) | △9,144 | △52,966 |

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 千円)

| | 株 主 資 本 | | | | | | 純資産 合計 |
|----------|---------|-----------|-----------------|-----------------------------|-----------------|------------|-----------|
| | 資本金 | 資 本 剰 余 金 | | 利 益 剰 余 金 | | 株主資本 合計 | |
| | | 資本 準備金 | 資本 剰余金 合計 | その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金 | 利益 剰余金 合計 | | |
| 当期首残高 | 66,440 | 50,300 | 50,300 | 11,177 | 11,177 | 127,918 | 127,918 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 当期純損失(△) | | | | △9,144 | △9,144 | △9,144 | △9,144 |
| 当期変動額合計 | — | — | — | △9,144 | △9,144 | △9,144 | △9,144 |
| 当期末残高 | 66,440 | 50,300 | 50,300 | 2,032 | 2,032 | 118,773 | 118,773 |

当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

| | 株 主 資 本 | | | | | | 純資産 合計 |
|----------|---------|-----------|-----------------|-----------------------------|-----------------|------------|-----------|
| | 資本金 | 資 本 剰 余 金 | | 利 益 剰 余 金 | | 株主資本 合計 | |
| | | 資本 準備金 | 資本 剰余金 合計 | その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金 | 利益 剰余金 合計 | | |
| 当期首残高 | 66,440 | 50,300 | 50,300 | 2,032 | 2,032 | 118,773 | 118,773 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 当期純損失(△) | | | | △52,966 | △52,966 | △52,966 | △52,966 |
| 当期変動額合計 | — | — | — | △52,966 | △52,966 | △52,966 | △52,966 |
| 当期末残高 | 66,440 | 50,300 | 50,300 | △50,933 | △50,933 | 65,806 | 65,806 |

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前当期純損失 (△) | △10,226 | △75,598 |
| 減価償却費 | 2,179 | 2,785 |
| のれん償却費 | 2,538 | 3,892 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2 | △4 |
| 支払利息 | 1,706 | 1,866 |
| 固定資産売却益 | — | △79 |
| 固定資産除却損 | 356 | 1,376 |
| 補助金収入 | △228 | △4,656 |
| 売掛金の増減額 (△は増加) | 4,989 | △42,296 |
| 買掛金の増減額 (△は減少) | 4,083 | △3,891 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 878 | △272 |
| 契約負債の増減額 (△は減少) | 9,747 | △3,417 |
| その他 | 11,944 | 11,673 |
| 小計 | 27,966 | △108,621 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2 | 4 |
| 利息の支払額 | △1,706 | △1,866 |
| 補助金の受取額 | 228 | 4,656 |
| 法人税等の還付額 | — | 13,752 |
| 法人税等の支払額 | △31,668 | △1,078 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △5,177 | △93,153 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △3,288 | △2,317 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △4,989 | △64,330 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 100 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 2,177 | 2,886 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △10,055 | △5,793 |
| その他 | △27 | 230 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △16,182 | △69,224 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 100,000 | — |
| 短期借入金の返済による支出 | — | △100,000 |
| 長期借入れによる収入 | 500,000 | 87,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △74,744 | △53,052 |
| リース債務の返済による支出 | — | △387 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 525,256 | △66,439 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 503,895 | △228,818 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 148,179 | 652,074 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 652,074 | 423,256 |

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(会計方針の変更)

時価の算定に関する会計基準の適用方針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる財務諸表に与える影響はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社の事業セグメントは、就労支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

| | 前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 75円60銭 | 41円88銭 |
| 1株当たり当期純損失(△) (注)1、2 | △5円82銭 | △33円71銭 |

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、前事業年度は潜在株式が存在するものの当社株式が非上場であり期中平均株価が把握できないため、また前事業年度及び当事業年度は当期純損失を計上しているため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|---|--|--|
| 当期純損失(△)(千円) | △9,144 | △52,966 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る 当期純損失(△)(千円) | △9,144 | △52,966 |
| 期中平均株式数(株) | 1,571,000 | 1,571,000 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | 新株予約権1種類(新株予約権の株式数8,000株) | 新株予約権1種類(新株予約権の株式数5,000株) |

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

| | 前事業年度 (2022年3月31日) | 当事業年度 (2023年3月31日) |
|------------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 純資産の部の合計額(千円) | 118,773 | 65,806 |
| 純資産の部の合計額から 控除する金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る 期末の純資産額(千円) | 118,773 | 65,806 |
| 1株当たり純資産額の算定に 用いられた期末の普通株式の数(株) | 1,571,000 | 1,571,000 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。